

2025 年度 第 2 回
多世代交流施設 尾久のはらっぱ
グループホーム尾久の原

運営推進会議

2025 年 7 月 25 日（金）
13：00～13：30（GH）
13：30～14：00（小規模）

式次第

- ① 開会の挨拶
- ② 運営推進会議メンバー紹介
- ③ 各事業の状況報告
- ④ 5～6 月の活動写真
- ⑤ 皆さまからのご意見、ご提案など
- ⑥ 次回の日程確認

2025 年 9 月 19 日（金）
13：00 ～ 13：30（GH）
13：30 ～ 14：00（小規模）

【グループホーム尾久の原 3階・4階】

報告者:佐々木皇平・青木喜美子

2025 年 7 月 20 日現在

1 入居者情報 入居者数 3階 9名・4階 9名

① 入退居状況

3階:なし

4階:なし

② 現在の入居者状況

3階	男性	1名	女性	8名	合計9名
4階	男性	3名	女性	6名	合計9名
平均年齢	3階	90歳	4階	89歳	
平均要介護度	3階	2.1	4階	2.0	

③ 入院状況

3階:7/18～入院(女性)1名

4階:6/5～7/2 入退院(男性) 1名

2 職員情報

3階:7名

4階:8名

3階			4階		
介護従業者	常勤	7名	介護従業者	常勤	6名
	非常勤	0名		非常勤	2名
	男性2名	女性5名		男性1名	女性7名

活動状況(2025 年 05～06 月)

後ほど、お写真をご確認ください(^_^)

4 事故報告

発生状況	対策
昼食後薬を服用されてから、居室へ戻られ休まれていた。 フロアへ戻られ職員へ声をかける。顔を見ると口の横に食べカスの様な物が付いており、食後に嘔吐があったか伺うと頷かれる。 居室を見に行くと柵上にアスピリン錠が付いていた。	ご本人の側で飲み込みまで確認する。
センサー反応あり、訪室するとセンサーマット上にお尻、足はクローゼットの方に向け座っている。 ご本人はベッドから落ちたような事を言われていた。 職員は物音に気付かず。	巡視の際に落ちそうになっていたり端に寄りすぎていたら中心に寄って頂く。
居室から大きな音がし、職員が駆けつける。 居室入口右側の壁に斜めに背を向け膝を曲げた状態で尻餅を付いている。 声かけで足をベッド側に向きを変えて頂き、職員 2 人対応で立ち上がり介助。 ベッドに腰を掛け全身確認。左の腰をぶつけた、頭はぶつけていないとの事。外傷はなし。	ご本人は「大丈夫、出来る」の気持ちが強いため福祉道具を勧めるのは限界がある。 寝起きや考え事をしている時は歩行の意識が逸れやすい為、声掛けや見守りが必要になってきている。
移動スーパーの帰りに玄関ドアサッシに足を引っかけ右膝、右ひじをついて仰向けに転倒。 職員 3 人がかりで立ち上がり介助。 近くの椅子に腰かけ全身の確認行う。	前傾ですり足、早歩きだったり他の事に意識が行ってしまう事が多い為、職員の声掛けや見守りが必要。

入浴時、背中に貼付している毎夕食後薬のテープが 8日、10日と日付のない物3枚が貼付されている のを見つける。かぶれ等は無し。	テープに日付記入、貼付場所の送り、剥がし終えた テープを翌日のチェックまで保存。 テープが背中に無い場合はキチンと全身を確認す る。
リビングの自席に腰掛ける際、座り損ね後ろに尻餅 を付くように転倒。 その際に左肘をつく。頭はぶつけていない。	意識が他に行ってしまったたり、歩行や立ち上がり といった基本的動作が不安定な為、より多くの声掛け とすぐ近くでの見守り、介助が必要。
自室(402号室)からベランダに出て、外階段をおり 3階のフロアへ入られ、3階職員より連絡が入り気付 く。	居室からベランダへ出たのは初めての事であった。 朝8時は夜勤者のみしかいない為、所在確認を行 い、時間によるセンサー等を検討する。

2025 年度 第 2 回
多世代交流施設 尾久のはらっぱ
グループホーム尾久の原
小規模多機能ホーム尾久の原
運営推進会議
議事録

2025 年 7 月 25 日（金）
13：00～13：30（GH）
13：30～14：00（小規模）

式次第

① 開会の挨拶

吉田：「運営推進会議とは」をご説明

② 運営推進会議メンバー紹介

地域住民：5 名
社会福祉協議会：3 名
公園管理事務所：1 名
地域包括支援センター：0 名
荒川区役所：1 名
原保育園：1 名
町屋図書館：1 名

③ 各事業の状況報告

Q(3)の相談・問い合わせ状況のソーシャルワーカーはどこの方か？具体的に記載した

方が分かりやすいのではないかと？

A 例、病院等どここのソーシャルワーカーかまで記載していく事としていきます。

Q 外に出て行ってしまう方がいるのに、ベランダに鍵をかけないのか？

A 当グループホームは、9 名で生活しております。ベランダに出て洗濯を干したり、外の景色を見たりされる方もいて、非常に悩ましい所でございますが、集団生活ですので鍵をかけてしまうとしたい方の自由を奪ってしまう形になります。玄関については、鍵をかけますが、それ以外の場所は危険物等の管理場所以外はかけません。身体拘束となってしまうからという理由の前に、尾久のはらっぱでは当たり前の権利・今までの暮らしに近づける事を大事にしており、試行錯誤を繰り返しながら安全性を高めご支援させて頂いております。

④ 5 月、6 月の活動報告

⑤ 皆さまからのご意見、ご提案など

Q 面会時の対応は変更にならないのか？

A 現時点では、お部屋に上がる場合は、各家族二名様ずつ 30 分程度で事前に予約問い合わせをお願いしており、変更はございません。大人数でお越しの場合は、入れ替わり制で対応致します。随時ご相談下さいませ。

意見を頂いた事は、全体会議で報告をさせていただきます。

Q 友人等ふらっと来て会う事は出来ないのか？

A 「主たる判断者」様を介して頂く必要があります。どうしてもという場合は事前に「主たる判断者」様と取り決めをしておくと、スムーズに面会出来るケースもあります。

Q 原保育園と尾久のはらっぱとの交流は今まで通り出来るのか？

A 勿論こちらこそ宜しくお願い致します。ご入居者様が喜ぶ事、したい事はどんどん取り入れて参ります。

⑥ 次回の日程確認

2025 年 9 月 19 日（金）

13 : 00 ～ 13 : 30（GH）

13 : 30 ～ 14 : 00（小規模）